

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201237
法人名	社会福祉法人 成寿会
事業所名	グループホーム関前
所在地	愛媛県今治市関前岡村甲2574 - 3
自己評価作成日	平成23年9月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年10月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お一人おひとりの出来る力を大切に、日々発揮出来るように、スタッフが統一した支援を行い、又、発揮できる場が提供出来るように努力している。御家族様との関係も大切に、細やかな報告をし、当ホームへの要望等が気安く言えるような雰囲気づくりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、生活のリズムを作るために、利用者が計算ドリルに取り組む時間を作ったり、毎月、運動会や鳴子踊り発表会等、イベントを決めて練習を重ねながら、利用者が楽しめるような機会作りを努めておられる。
 管理者は、利用者一人ひとりの毎日の様子やエピソードを日記調にして「生活の様子」として1カ月ごとでまとめられ、写真とともにご家族に送付されている。
 みかん農家をされていた利用者が多く、みかんは馴染みのくだもので、ご家族や地元の方からみかんをいただくこともよくあり、事業所では、おやつや水分補給によく食べておられる。畑が気になる利用者、受診の帰りに畑に回って様子を見て帰るようなこともある。調理の得意な利用者には台所に立つような場面作りをされている。退居して亡くなられた利用者のご家族の方が、事業所の敬老会時に来てくださり、日本舞踊を披露して下さった。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名

グループホーム関前

(ユニット名)

あこう

記入者(管理者)

氏名

安藤 ゆかり

評価完了日

H 23 年 9 月 10 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 朝礼で理念を唱和し職員に共有した考えをもつ様になっている。毎月のカンファレンスの際には、状態に応じ、又理念を踏 まて検討していき、日々のケアにつなげている。	
			(外部評価) 理念は、玄関を入れて正面に掲示されている。又、毎日行う 朝礼時、勤務職員で唱和して共有されている。事業所では、 生活のリズムを作るために、利用者が計算ドリルに取り組む 時間を作ったり、毎月、運動会や鳴子踊り発表会等、イベン トを決めて練習を重ねながら、利用者が楽しめるような機会 作りに努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 行事・地域参加に声かけて頂く度、積極的に参加し、散歩の 際には、挨拶を交わし、声を掛けて頂くが、訪問や立ち寄り までには至っていない。	
			(外部評価) 管理者は、近隣の市社協主催の介護教室や地元の中学生の 福祉の勉強会に参加し、グループホームの暮らしの様子 をお話しされ、地元の方からは「たいへん参考になった」と感 想をいただいた。秋祭り時には、玄関前にみこしや獅子舞も 入ってくれて、利用者は見学して楽しまれた。事業所職員も 神輿のかき手に参加をされた。地域の文化祭には、習字や はり絵、利用者が手作りされた針山等の作品を展示予定で、 利用者も見に行かれる予定となっていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議以外では難しい面があるが、この度、近くの福 祉センターからの呼びかけがあり、町の介護教室に参加させ て戴き、グループホームとしての支援の方法を話させて戴 き、併せて見学は自由に開放していることも説明を行う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 現状報告や支援経過報告を取り入れ、どのように支援している、どう変わっていったかなどの説明を行い、サービスの実際を分かって頂くようにし、その報告後、意見も聞かれるようになっている。</p> <p>(外部評価) 会議は、事業所に隣接する地域交流館で開催されており、近隣施設の方や市役所支所の担当者・自治会長、民生委員、ご家族等が参加されている。今年から参加者に「事業所でどのようなケアを行っているか」ということを知っていただくために、利用者をピックアップして「支援経過報告」を行っておられ、参加者からは「たいへんですね」「～な場合はどのようにしているのですか」等、質問や意見が多く出るようになったようである。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議メンバーとして参加して頂いている。色々な面で相談にのって頂いている。</p> <p>(外部評価) 市社協主催の「七夕会」に参加されたり、「介護者教室」時には、管理者が出席されてグループホームの暮らしについて説明された。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 拘束しないケアを目標に、個々の状態に応じて検討し、安全な生活が出来るように工夫し対応している。身体拘束は行っていないが、夜間は玄関施錠している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時に事故報告を行っておられる。利用者が転倒した状況等を説明され、「夜間の巡回時の小まめなトイレ誘導」「早目のナースコール対応」等、事業所の対策やその後の経過を報告されている。転倒の心配がある利用者は、ベッドサイドに畳を置く等して、身体拘束せず対応できるよう努めておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員研修の項目の中にも入れ研修を行うようにし、亦、虐待事件やニュースが流れると話し合いをし、職員の意識付けに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今までに必要な利用者おらず行っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時にはしっかりと説明を行い又家族の意見も聞き対応している。特に緊急時の対応については、今治市へ搬送される場合もあることをしっかりと説明し理解を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が面会に来られた際、アンケート用紙を配布しサービスの向上に役立て、又、直接意見を訊いたりしてサービスの向上に努めている。	
			(外部評価) 玄関には、利用者・ご家族用のアンケートと意見箱を置いておられ、ご家族が来られた際、アンケートに協力をいただけるよう手紙を手渡ししてお願いされている。又、管理者は「何か気付いたことがありますか」と、ご家族に声をかけ、意見や要望を出してもらえるように働きかけておられる。管理者は、利用者一人ひとりの毎日の様子やエピソードを日記調にして「生活の様子」として1カ月ごとでまとめられ、写真とともにご家族に送付されている。	現在、ホーム便りは、事業所に掲示してご家族の来訪時に見てもらえるようにされているが、管理者は今後、ご家族に送付する等して事業所の活動や取り組みをさらに知っていただきたいと考えておられる。さらに、運営推進会議で話し合った内容等もご家族に分かりやすく伝える等して、事業所のサービスについての意見や要望、感想等をより具体的にお聞きしてみてもどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の業務の中で出てくる意見を訊くようにし、又、カンファレンスで検討する機会を有つようにしている。	
			(外部評価) 毎月、職員が集まりやすい日中にカンファレンスを行い、利用者のケアについて話し合われたり、行事内容や担当する職員を決めておられる。事業所の勉強会は「虐待について」「認知症ケアについて」等、年間計画を立て、資料も作ってすすめておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 賞与査定を行い業務に意欲のある職員に反映できるようにしている。月に一度経営者の視察があり、職場環境等の評価改善を行っている。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内では2ヵ月に1回行っている。職場でも2ヶ月に1回課題を決め研修を行っている。外部研修については行っていない。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 町内の社会福祉協議会主催の七夕交流会や介護教室に参加させて戴き、地域との交流を図ると共に、グループホーム等の説明も行っている。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前の訪問・面接を行い、ご本人の要望等を聞き出し、安心して入所して頂けるように努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の心配事や不安を取り除けるよう、しっかりと意見を聞き説明を行うようにしている。又、入所後のご様子の電話連絡も行うようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人内で連携をとり適切なサービス利用に努めている。入所時には、事前にADLが分かるように“たちまち表”を作成し、職員全員に状態が把握できるようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それなりに出来る力を発揮して頂けるように支援し、自然な流れでお手伝い出来るよう、全員の力で日々の生活が共有できるようにしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会の際には常に声かけをし、状態や気付きの報告を行う。亦、毎月「日々の生活の様子」を送付し疎遠にならないようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今までのかかりつけ医をなるべく変更せず、馴染みの地域で暮らせるように支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>みかん農家をされていた利用者が多く、みかんは馴染みのくだもので、ご家族や地元の方からみかんをいただくこともよくあり、事業所では、おやつや水分補給によく食べておられる。畑が気になる利用者と、受診の帰りに畑に回って様子を見て帰るようなこともある。調理の得意な利用者には台所に立つような場面作りをされている。退居して亡くなられた利用者のご家族の方が、事業所の敬老会時に来てくださり、日本舞踊を披露してくださった。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) お一人おひとりの個性を大切に、亦、生活リズムを崩さないように配慮し、その中で交流がもてるような場の提供を行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 常に相談や連絡をして頂くようにお声かけをし、速やかに法人内で連絡を取り合い、サービスの提供が出来るように対応を行っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々生活されている中での小さな望みを見落とさず、その望みが叶えられるように、日々の色々な面で検討を行っている。 (外部評価) 職員は、日々の利用者との会話の中で個々の希望等をお聞きしている。「炊き込みご飯が食べたい」と利用者から希望がある時には、職員は、ある食材を工夫して希望に添えるように作っておられる。入居時、センター方式のアセスメント様式を用いて、利用者の情報収集をされている。	利用者一人ひとりの思いや意向を探り支援につなげていくためにも、職員が日々得た個々の情報を蓄積するようなツールにも工夫されてみてはどうだろうか。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 担当のケアマネージャーからの情報や本人・ご家族からのお話を大切に聞くようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の状態の変化を観察・記録して把握し、カンファレンスに役立てている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 各ユニット職員にてカンファレンスを1回/1月行い、ケアプランを見直し、スタッフからの意見を出し合い作成を行っている。又、カンファレンス議事録に話合った内容を記録し、全員が把握できるようにしている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、毎月のカンファレンスで利用者個々の情報を職員から聞き取り、個々の「できることを続けられるよう」介護計画の作成に努めておられる。計画は、毎月カンファレンス時にモニタリング・評価を行い、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の様子やケアプランの状況の記録を、個人ケースに行っている。又、関わった職員にしか分からない気づき等もバイタル表の備考欄に記入し、ケース記録に役立てるようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 体調の急変時の受診・定期受診の対応等、ご家族の付き添いが困難な状況が多い為、事業所対応で行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域のまつり・行事には積極的に参加している。地域の小学生や中学生が参加する行事には積極的に参加し交流を図っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			通い慣れた“かかりつけ医”の受診が継続できるように1回/1月受信を行い、健康管理に努めている。	
			(外部評価)	
			往診を受けている利用者や、職員が同行して島外の病院を受診される方、島内の診療所で診てもらおう方等、利用者個々のかかりつけ医に継続して診てもらえるよう支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			訪問看護ステーション等には利用していないが、かかりつけ医の看護師とは受診の際などに積極的に状態を話し、アドバイスを頂いている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			入院の際には病院まで必ず付き添い、生活の様子やADL面を細かく報告を行っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	次ステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			基本的なみとりは行っていないが、緊急時の体制・対応については、ご家族に説明し地域の協力を得ながら支援に取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			事業所では看取り支援は行わないことを、入居契約時に利用者ご家族に説明されており、利用者個々のかかりつけ医と相談して、入院が必要になれば、事業所を退居することになっている。ご家族によっては、他施設に申し込みをされているような方もいる。調査訪問時には、利用者の状態に応じて、ミキサー食にされたり、食材を小さく切って支援されている様子がみられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作り通報訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署に協力を得て利用者と一緒に訓練を行っている。	事業所は、土石流危険区域になっていることもあり、愛媛県の土砂災害警戒体制の整備についての説明会に参加された。地域の情報を得て、事業所では、災害時の対応について、訓練や指針を検討していきたいと考えておられる。又、地元の消防団と合同で避難訓練を行うことも考えておられる。利用者や職員の安全と安心に向けた取り組みや地域との協力体制作り等、取り組みをさらに具体的にすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 年に2回、火災時の避難訓練を行っておられる。運営推進会議時、「小規模介護施設と地域住民の共同避難訓練」のビデオ上映をしてメンバーの方達と一緒に防災意識を高められたり、近隣の市社協の担当者の方からは、「いざという時には連携しましょう」と提案をいただいた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員研修の項目の中にも採り入れ、プライバシーの保護の大切さを自覚してもらい充分に配慮し対応するよう取り組んでいる。対応が気になったときは、その場で助言や注意を行うようにしている。	さらに、職員の利用者への対応や雰囲気作りについて、すべての職員で点検するような機会を作り、職員の気付きをケアに採り入れ、事業所のさらなるケアの質の向上につなげていかれてほしい。
			(外部評価) 管理者は「利用者への言葉かけをていねいに行う」ことをよく職員に話しておられる。居室の収納や掃除等も、利用者の個性や習慣等も大切にされて、又、利用者のプライバシーに配慮して行っておられる。トイレの扉は、ロールカーテンになっており、利用者が使用する際には、ご自分でカーテンを下ろすか、職員が下ろすようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の暮らしの中で、利用者と積極的に会話し、小さなことでも意思を尊重するようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員本位のケアにならないよう、意思を尊重し、その人らしさを大切に支援できるように努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 自立されている方はその人の意思にまかせ、身嗜みの確認のみ行う。ご自分で困難な方は、出来る力を発揮して頂けるように行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る方のみにお手伝いが偏らないように、お一人おひとりの出来る力を活かし、協力し合い、達成感を味わって頂けるように支援している。	
			(外部評価) 法人の栄養士が立てた献立で一週間分の食材が届くようになっており、食材庫の冷蔵・冷凍庫等で保管されている。調査訪問時にはお米を研いであげている利用者や、下膳されたりテーブルを拭く利用者の様子もみられた。お祝いの際には、巻きずしが定番メニューとなっており、利用者と職員で手作りしてお祝いされている。ご自分の力を使って食事を口に運びやすいよう、プラスチックのスプーンや軽い食器を使用している方もいる。職員の声かけで、利用者は食前に口腔体操をされ、又、職員は、食事前に「月 日の昼食です」と利用者知らせてから食事のあいさつをされ、食べ始めておられた。利用者が食事をされる間、職員は介助の必要な利用者の隣に座り介助をされていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の摂取量のチェックを行っている。摂取状態に応じた量や食事形態等の検討を行い、変更したりしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 状態に応じた口内ケアの対応を行い、チェック表に記入し、確実に口腔ケアが行われるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄状態が分かるよう記号で分け、表につけている。汚染確認が必要な方で、自立されている方には記号を変え、汚染確認のめやすとし、保清を行っている。 食後ご自分でトイレに行かれる方や、職員が歯磨きの前後にトイレに誘導されてる様子がみられた。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	適切な運動と水分補給をしっかりと行うようにし、便秘予防を行い、排便確認を行っている。便秘がちな方には、主治医の処方により服薬での排便コントロールを行っている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	大まかには決まっているが、その日の状況や利用者の希望も取り入れて行っている。身体の状態に応じ足浴も取り入れている。 ヒノキの浴槽で香りが楽しめ、又、浴室の窓から海が眺められる。春には桜の花をみながら入浴できる。現在は、午後からの入浴となっており、利用者は、一日おきに入浴できるようすすめておられる。職員は、安全に入浴できるよう見守ったり、利用者のお話をゆっくりお聞きしながら介助をされている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	夕食後から就寝までの時間にゆとりを有ち、個々のペースに合わせて、テレビを視られたりお喋りをされたりと、リラックスされた時間を過ごされている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤表を各病院ごとにファイルし、また薬に変更があれば、その都度申し送り、情報を共有している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 楽しみながら、達成感を味わって頂けるように工夫し、役割が義務的にならないようにしている。その時の希望も取り入れ楽しみや気分転換に繋げている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 日々の散歩や地域行事に参加している。また季節に応じてドライブにも出かけている。 (外部評価) 玄関先に出て過ごされたり、併設の地域交流館の庭を散策されたり、海辺を散歩されている。調査訪問時の午前中、利用者が散歩に出かける様子がみられた。隣の島の公園までドライブされたり、法人内の他施設で行われる陶芸教室や系列グループホームでの行事等にも出かけておられる。さらに、外出支援については、利用者が行ってみたい場所等の希望もお聞きしたり、又、ご家族の要望等もお聞きしながら、利用者主体の外出支援に工夫を重ねていかれてほしい。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 少額のお小遣いをご家族様より契約の際に説明し預かり、預かり帳をつけ管理している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。制限はしていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>カーテンやブラインドを使用し状態に応じ調整を行っている。共同のフロアには、季節おりおりの作品や行事の写真を飾り楽しい場になるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>木の温かみを感じる造りで、居間の窓からは行き交う船が見えたり、釣りを楽しむ人の様子等も見え、利用者の話題になっている。ウッドデッキには洗濯物を干したり、季節のよい時には、お茶を楽しまれている。利用者が散歩時に摘んで来られた草花をテーブルに飾っておられた。いすはリクライニングできるものを使用しておられ、廊下等にも置いておられる。床掃除は、利用者がモップかけをしてくださることもある。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングに椅子を置き、自由に座り、他者とお喋りが出来るようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>持ち込み自由なので、利用者自身や、ご家族にも馴染みの物を持ってこられるように、積極的にお願いしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室は、利用者と職員で掃除や整理をされている。入口の扉を開けておけるよう、ご自分が紙でストッパーを作っている利用者もいる。窓には障子戸が付いていてやわらかい明るさであった。利用者によっては、荷物をまとめておられる方もあり、又、新聞の切り抜きをされる方は、作りためたものをベッドわきに置いておられたり、ご主人の写真にお供え物をされる利用者もいる。居室が分かるよう、ご自分の名前を書いてふりがなを振っておられる利用者もいる。調査訪問時、昼食後、居室で横になって休まれる利用者もあり、管理者はそっと声かけし布団をかけておられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>建物はバリアフリーとし、廊下・トイレ・浴室等は手すりを取り付けている。</p>	